

児童の通学、住民生活安全に

農業用水路に 転落防止カバー

砺波市土改区東野尻地区委 300メートルにわたり

砺波市土地改良区東野尻地区委員会は23日、砺波南部小児童の通学路となっている農道沿いの農業用水路約300メートルに、転落防止カバーを設置した。農道は幅約3メートルと狭く、通行する車を避ける際などに用水路側に寄っても、誤って落ちないよう対策を講じたもので、児童や地域住民の事故防止につなげる。



通学路沿いの農業用水路に転落防止カバーを設置する東野尻地区委員会メンバー
＝砺波市野村島

転落防止カバーは高岡ケージ工業(高岡市)が開発した。県内では豊かな水資源が農業を支える一方、子どもや高齢者が用水に転落するケースもあることから、こうした事故を防ぐのが狙い。カバーは鉄製の編み目状で、必要な安全強度を確保しながら軽量化も図っており、取り付けや取り外しが簡単にできる。県のトライアル発注商品にも認定されている。

高岡ケージ工業が開発

23日は同委員会の水木修委員長ら12人が時折、激しく雪が降る中、児童や住民の安全安心を願いながらカバーを丁寧に取り付けを行った。農作業が始まり用水の水量が増加する春を控え、水木委員長は「子どもたちが事故なく、安心して通学できるように取り組みたい」と話した。